

第1回柏尾の家 こどもワークショップ

○当日の流れ

■日時 令和3年6月5日(土) 13:30~16:30

■会場 清水区柏尾81 柏尾の家(屋号・まるなか)

■参加者 24名(しずみん会員:9名*、wanna×wanna:5名、子ども:11名)※重複あり

■プログラム

(1) 開会

(2) 趣旨説明

- ・ママたちだけではとてもできなかったような話が、しずみんの皆さんのおかげで何から始めればよいか、課題を含め見えてきた。今日は、子どもたちにも自分たちがやりたいことを考えてほしい。柏尾の家が、自分が主役になってやりたいことを実現できる、夢を叶えることができる場所になるといい。(橋ヶ谷さん)
- ・しずみんとしても最大限の協力をさせていただきたい。この家が楽しい場所になるように、子どもたちにも沢山のアイデアを出してもらいたい。(伊藤会長)

(3) 建物と庭の見学

① 柏尾の里の昔と今(塩見さん)

- ・地名の由来、集落の成り立ちに関する考察(明治22年の地図より)

② 柏尾の家のみどころ(松永さん)

- ・柏尾の家の構造、時代ごとの間取りの変化、使われている木材など

③ 建物と庭の見学

(4) グループディスカッション・発表



○グループディスカッションまとめ（アイデア）

こどもグループ ① 和室（2）

楽しくて最強の家（ヒミツ基地）

柏尾の家では、いつもできないことをやってみたい

●池

スーパーボールすくい、つりぼり、お風呂プール
※ 池の水を全部ぬいてきれいにする

●竹林

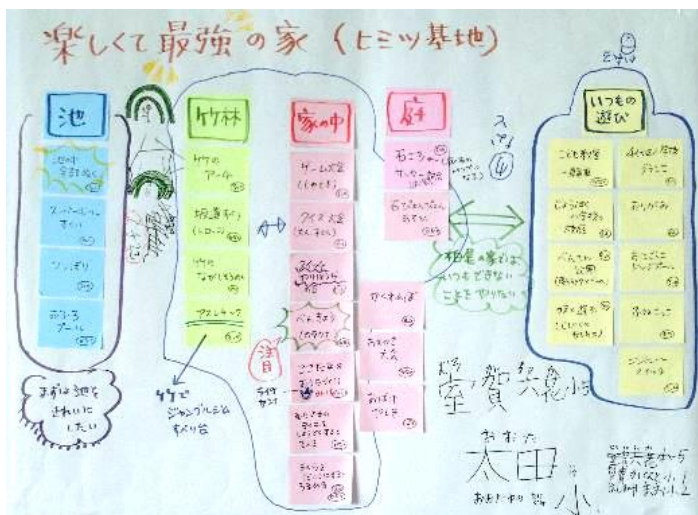
竹のアーチ、竹のアスレチック（ジャングルジム、すべり台）
竹の流しそうめん、坂道すべり（トロッコ）

●家の中

射的大会、クイズ大会、かくれんぼ
ここたまのおうちづくり、おばけやしき
スイッチやり放題の日、勉強（カタカナ）

●庭

石ころサッカー大会（庭の石がトラップ）
石ぴよんぴよん遊び



こどもグループ ② 板の間

みんなワイワイ牧場

●竹

竹の遊具（ブランコ、のぼり棒、すべり台、ジャングルジム、ボルダリング）
竹細工（こま、けん玉、ビーチパラソル、竹弓の的あて、竹式のテント）
竹竿でザリガニ釣り、たけのこ掘り



●食

オムライス、カレーライス、BBQ、竹の流しそうめん
料理教室、ピザ窯づくり、無人販売*



●プール

砂を敷いてバレー・ドッジボール、ハンモック、プール*（ジャンプ台）

●アウトドア

シャボン玉、ダンス、トランポリン、ウォークラリー、ハイキングコース、飲み物コーナー*
虫とり（夜）、虫の図鑑づくり、大人のおつまみ&コーヒー*

●文化

クイズ大会、宝探し、レゴ、ボードゲーム
歌、くじ引き、ビンゴ、おかしまき、豆まき
小さな子どものおもちゃスペース



* お金をためてゲームやテレビを買おう！



パパさんグループ 和室 (1)

柏尾を楽しみたい!

●食を楽しむ

- 春： 子どもBBQ、よもぎもちつき、タケノコ掘り
- 夏： 流しそうめん、かき氷、スイカ割り、キウイ収穫祭
- 秋： 月見 (団子&ビール)、芋煮会
- 冬： もちつき、こたつで鍋&みかん



●季節を楽しむ

- 春： お花見、庭ピクニック
- 夏： 虫捕り、昼寝
- 秋： お泊り会、読み聞かせ・紙芝居、お化け屋敷ごっこ
- 冬： たこあげ、たき火、キャンプファイヤー、すごろく、何もしない

●おもいきり遊ぶ

- 竹を使った遊び (竹馬、竹とんぼ、水鉄砲、隠れ家づくり、遊具づくり)
- 秘密基地遊び、かけっこ、探偵ごっこ、探検ごっこ、池で金魚すくい、花火、野球・サッカー
プラレール、ピタゴラスイッチ



ママさんグループ 掘り炬燵

今後の活動について

●しずみんとの係わり方

- 係わり方 →状況に応じて人手、ノウハウを提供
- 家財道具の処分 →自前で運ぶ、トラックの借用（松永設計）

●竹の活用

竹のジャングルジム、竹の花壇づくり、平均台、竹遊びの本、竹の椅子づくり、ハンモック

●7/10土 竹のジャングルジムづくり

7/8木・9金どちらか 事前準備（竹の切り出し作業）

●今後やってみたいこと

- 大人プログラム（漫画コーナー、ビール会、お月見）
- 子供プログラム（夏休みの工作）



○総括

〈伊藤会長〉

- ・子どもたちが一生懸命多くの意見を出してくれたおかげで、この場所をどのように使っていけばいいか、具体的に見えてきてよかった。
- ・アイデアをまとめていけば、「活用ブック」のようなバイブルができるのではないか。
- ・今日は、柏尾の家にとって記念すべき日になったのではないかと思う。
- ・次回は、キックオフプロジェクトとして、竹のジャングルジムを稲葉さんのご指導のもと製作。まずは一つ、具体的に形のあるものを作ることから始めてみたい。

〈橋ヶ谷さん〉

- ・コロナ禍の中、公園に行っても怒られるような状況で、遊ばせる場所を探していた。苦肉の策で畑を始めたところからのスタートだった。
- ・柏尾の家はずっと空いていたにも関わらず、今まで全くノータッチだった。子どもたちの遊ぶ場所の話になった時ここあることを思い出し、そこからしずみさんに繋がった。
- ・まさか子どもたちがこんなに色々な意見を出すとは思わなかった。親がいるとついつい口を出してしまったり、自分の本音を出せなかったりと、「やりたい芽」を摘んでしまっている部分もあったと思う。
- ・今日のワークショップで、子どもたちの「やりたい」を上手に引き出していただいたおかげで有意義な時間になった。
- ・不安な思いもあったが、しずみんの皆さんと関わることで、夢を一步一步進める勇気ももらった。これからは始まりだと思う。

○その他

- ・次回 第2回柏尾の家 7月10日（土）